

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) IK
所属 (School) 情報学研究科 基幹情報学専攻
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)
フランス国立情報学自動制御研究所 (Inria)
留学期間 (study abroad period)
2022/8/6~2022/9/22

記入日 (Date) 2022/10/12

留学レポート Study Abroad Report

・経緯

本留学は、所属研究室と Inria およびドイツ人工知能研究センター(DFKI)の研究チームによる共同研究に際して行われた研究留学です。私にとっては、今後の進路の予行演習としてのお試し海外生活という目的もあります。私は、フランス、ナンシーにある Inria の研究所に一時的に所属し、自身の研究を進めつつ、研究チームのメンバーとの研究内容についてのディスカッションや交流を行いました。

私の研究室の同期が同様の経緯で、同時期に DFKI に研究留学に行っているほか、研究室の教員 1 名がそれぞれの研究チームとのディスカッションのために我々のもとに一時的に滞在する期間がありました。当教員は以前より Inria とのコネクションを持っており、我々の引率も兼ねての滞在でした。

・日々の生活

宿泊については、Airbnb を利用して格安で、研究所から近いマンションの一室を借りました。ホストのご婦人との共同生活でしたが、寝室は綺麗でキッチン、バス等設備も充実しており快適に暮らすことができました。また、ホストは親切で時々料理をお裾分けしていただくこともありました(いわゆるホストファミリーとは少し形態が違うので食事等は基本的に自分で用意します)。

食事については、基本的に朝食(コーンフレーク等日本と同じ簡単なもの)と夕食(後述する食堂での昼食の量が多いのでこちら簡単なもの)を部屋で食べていました。近所にスーパーが複数あり、食材等はそこで調達することができました。スーパーには日本食のコーナーもあり、醤油やカップ麺、味噌汁等を購入することができたので、滞在中に日本食が恋しくなるということはありませんでした。

・研究活動

研究所の入構の手続き等は向こうの研究チームのメンバーにサポートしていただきました。また、チームの研究室で空いている机と PC を貸してもらい、そこで研究を進めていました。

研究留学であるため、現地の大学で講義を受けるということはありませんでしたが、研究所自体は口レーヌ大学の敷地内にあり、移動時には多くの学生とすれ違ったので海外の大学の雰囲気といった



ものは把握できました。

研究所(右上の写真)は基本的に博士課程の学生や教員, リサーチャーしか入れないため落ち着いていて騒がしくなく, 研究に集中することができました。また, 言葉では言い表し難いのですが, 同様の理由から研究所内の研究者は皆研究に対するやる気と意識がかなり高い印象を受け, それに刺激を受けながら研究をすることができたと思います。

平日は朝 9 時過ぎに研究室に赴き研究, 正午にチームのメンバーと一緒に研究所内の食堂で昼食, その後作業を続け午後 7 時ぐらいに帰宅という生活をしていました。昼食時にはメンバーとの英語での会話を楽しみました。特に日本のアニメの話は弾みました。加えて, 不定期ですが複数回, 研究チームのメンバーとのミーティング・ディスカッションの機会を設け, 自身の研究内容について説明しそれに対するアドバイスをいただくといったこともしていました。英語でのディスカッションの機会は今まであまりなく, 初めの方は聞き逃したり, 説明に手間取ったりと問題は多かったのですが, 滞在期間の終わり頃には(完璧とは到底言えないが)英語に慣れてきた感覚を自身で感じられるようになったと思います。

・街の雰囲気

ナンシーの治安は思っていたよりも良く, それなりの対策をしていたこともあり犯罪被害に遭うことはありませんでした。中心部は活気があり, 日本人は少ないですが観光客も多く雰囲気は良いです。

交通に関しては, 研究所からナンシー中心部まではトラム(路面電車)が通っており, 土日には運賃が無料になったり, 午前 0 時ぐらいまで動いていたりと移動に関して不便を感じることはありませんでした。また, SNCF ナンシー駅は比較的大きな駅で日本の新幹線にあたる TGV でパリまで行くことができるほか, 後述するルクセンブルクやストラスブールにも面倒な乗り換えなしに行くことができます。

気候は日本よりも涼しく, 8 月でも日本の 9,10 月程度の気温, 9 月でも日本の 11 月程度の気温だったと思います。長袖の服を持っていったので寒すぎず快適でしたが, 日本よりも乾燥するという特徴もあります。洗濯が部屋干しでも特に臭ったりせずすぐ乾きますが, 乾燥しすぎると喉の調子が悪く感じる時もありました。

・観光

休日にはナンシーの中心部までトラムで向かい, 美術館などを見学することができました。ナンシーはアール・ヌーヴォーの芸術作品で有名であり, エミール・ガレといった有名な芸術家の作品が見学できるナンシー派美術館は訪れる価値があります。また, スタニスラス広場(プロフィール横および下の写真)という広場は近隣の広場と共に世界遺産に認定されていて, 綺麗で優雅な景色を楽しむことができました。

さらに, 別の休日には近隣の大都市であるルクセンブルクやストラスブールに電車で訪れ, 観光することもできました。電車のチケットについてはオンラインで事前に購入するのがおすすめですが, 駅内の券売機で購入することも(初めは手間取りますが)それほど難しくありません。

・まとめ

フランス, ナンシーで充実した研究生生活を送ることができました。気候的にもちょうどいい時期に留学できたと思います。研究についてもそうですが, 自身の進路のためとして大変有意義な滞在になったと思います。

